

## 岡崎陽子さんを応援する会

私は仙台大学体操競技部OB、30期主将を務めた富岡知之と申します。

この度、皆様に御協力のお願いがあり書面にさせていただきました。

私達仙台大学体操競技部30期生の仲間である岡崎航太君の奥さんが現在「子宮原発脂肪肉腫」という難病と闘っています。

陽子さんの病状の進行を抑えるために平成24年8月からは1回目の高額治療を開始、その後も継続していく必要があります。

少しでも皆で協力し陽子さんを救いたいという気持から岡崎陽子さんを応援する会を結成し募金活動を開始する事にしました。

現在、陽子さんの病気に対する難病認定が下りておらず保険適応外での治療の為、どうか皆様の善意にすぎる状況を御理解いただき、1日でも早く完治出来る日をむかえられる事ができます様、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

### 岡崎航太君の紹介

1977年8月5日生まれ

北海道室蘭市出身

平成8年度 登別大谷高校卒業後同年、仙台大学体育学科に進学。

私達と同様仙台大学体操競技部に所属し、厳しい体操生活と学業を4年間共に過ごしてきた仲間です。

チームリーダーとして部員をまとめ、真面目で人柄熱く男女共にみんなを支えてくれました。頼りがいがあり、困っている事があっても岡崎君が冷静に助言してくれて解決への道を開いてくれる。私達同期にとって掛けがえのない大切な存在です。

岡崎君と陽子さんは平成11年12月18日両者共通の友人を介して知り合い、交際に発展。

翌年、仙台大学を卒業後平成12年4月よりお互いの就職の関係から岡崎君は北海道へ、陽子さんは山形へ帰郷、その後も遠距離での交際を続け平成15年12月23日に岡崎君が群馬へ就職するのをきっかけに結婚し群馬県にある相原体操クラブに就職。

日々、子供たちの育成と県大会や全国大会等様々な大会で審判活動もしております。

平成19年11月21日には長男、泰士君が誕生し、3人家族となりました。

その後、体操の大会等で岡崎君から陽子さんの病気の事を聞き、私達も正直非常に驚きました。病状も一時は安定していましたが、平成24年2月あたりから急変したと聞き、このまま何もせずにはいられない、私達にできる事を行動に移して行かなければと思い

この様な活動を同期で行っていき事になりました。

ここからは病気についての（発病～今後の予定）お話しをさせていただきます。

#### <病気の発病>

長男を出産後産褥期を過ぎても下腹部の膨張が治まらず、平成21年3月30日「豊泉産婦人科」にて検査を受ける。

子宮筋腫の可能性があると診断ではあるものの、腫瘍が大きいので2週間後に専門医のいる「さとう病院」の診断予約を入れる。

受診前日の4月13日の朝、下腹部に激痛が走り翌日受診予定だった「さとう病院」へ搬送・受診。痛みの原因は不明、痛みを和らげる事ができず入院を余儀なくされ、手術の必要性を告知されたので、陽子さんは帰郷し治療を決断。

山形に戻り「済生病院」での検査結果により、腫瘍の悪性の可能性を示唆され、大学病院への転院を勧められた。「山形大学医学部附属病院」（以下山大）に転院した後に腫瘍摘出手術を受けた。

摘出された腫瘍の性格を調べた結果、5月12日悪性と判明子宮原発脂肪肉腫との診断が下った。

#### <病名>

「子宮原発脂肪肉腫」脂肪肉腫のタイプ→粘液型

この病気は10万人に2人～3人の発症例、その中でも子宮原発は世界でも例が少ない。

筋肉等の軟部組織にでき、タイプは4段階あり悪性の低いものから2つ目が粘液型。

転移、再発すると悪性の高いものへと変化していく例もある。

肺に転移するケースが多く、肝臓、骨、脊椎など他の部位にも転移する症例がある。

#### <治療の経過>

平成21年5月20日(水)に子宮ないし左卵巣を手術にて摘出。

科学治療の成果が見込めなく転移・再発の動きが小さい性格の腫瘍との判断で、その後経過観察をしっかりと行いは種を手術療法にて対処していく方向性を選択。

腫瘍が投影されるのは造影MRIのみであり、3か月ごとに造影部分を選択し経過の観察を行っていく。

平成22年3月末明、腫瘍摘出手術時に腫瘍が崩れて出血していたので、その影響と思われるは種の発生が腹腔内に認められたので直ちに手術療法を行った。

自宅に戻った後の12月9日(木)腹痛があり、「黒沢病院へ」受診。ノロウイルスと判定されたが、エコー検査を行った際に腹腔内の肝臓近くに腫瘍の可能性を発見、血腫のような状態で破裂のおそれがあるため、早々の処置を求められる。

翌年平成23年1月、「山大」にて手術療法を行い腫瘍摘出。この腫瘍もは種と認定された。

手術後のMRI検査により骨盤・仙骨に3か所の転移を確認、放射線治療を骨盤と仙骨に行い右の座骨への転移もありそこにも照射。

平成23年2月右の尾骨に痛みと痺れが発症。痺れは太ももに及び放射線が重ならないように新たな腫瘍に照射。

その後脊椎全てに所見があることを告知され4月には右手が動かなくなり頸椎下部から胸椎上部・脇の痺れと痛みにより胸椎下部に放射線治療を行った。

血液検査により過度の貧血と炎症反応が出て再度画像検査を行った際、腰椎・肝臓・肺・頭蓋骨に転移が確認、入院加療により炎症と貧血を改善中7月11日には右足が動かなくなり直ちに腰椎に放射線治療、翌週には左足も動かなくなり継続的に入院加療、27日に治療は終了。

#### <現在の状態>

下半身（みぞおちより下）に感覚が無く起き上がれない状態。手や首は問題無いが再び右手に痺れと痛みが発症。以前治療した所に再発が見られる。

痺れや麻痺は腫瘍が脊髄を押ししているからである。

#### <今後の予定>

脊柱はほぼすべて治療を行ったため放射線は行えない。

肺・肝臓はまだ小さく重大な症状を起こしていないので経過観察。平成24年8月7日より保険適応外での免疫療法を実施。7日に採血21日に培養した血液を戻し4～6週間続ける。採血～培養～治療でかかる費用は220万。その間、自宅療養を中心にして通院にて治療する。

最後に行った放射線治療の成果で足が戻らなければ現在2階に住んでいる為受け入れ体制を整える予定（8月中）

免疫療法に効果があれば継続、なければ化学療法も含めて再検討する。

この治療は1度で終了ではなく、繰り返し継続する必要がある、現段階では手術できる状況ではありませんが、免疫治療効果により腫瘍が小さくなれば手術ができる可能性があります。

世界でも症例が少ない病で高額治療の為、一人でも多くの皆さんに声をかけて頂きたく募金協力の輪が広がっていく事を、心からお願い申し上げます。

#### 募金振込先

ゆうちょ銀行 記号 14160 番号 2140691 口座名 岡崎陽子さんを応援する会  
※ゆうちょ銀行からのお振込みは手数料がかかりませんが、現金でのお振込みの場合、  
送金となり手数料がかかります。ご理解頂きます様、お願い申し上げます。

#### <お願い>

この様に岡崎陽子さんとその家族は病気と闘っています。  
皆様の応援のお言葉は、とてもありがたく、岡崎君の励みになると思います。  
ですが、今は治療に専念させてあげたく思いますので、岡崎君に直接のご連絡は  
お控えいただきます様、お願い申し上げます。

なお現在、岡崎君への応援メール・募金報告・陽子さんの現状のお知らせをさせて頂く  
為の、HP を作成しております。作成が完了致しましたら、出来る限り皆様にお伝えさせて  
頂ける様に取り組んで参ります。  
よろしくお願い致します。

なお、ご不明な点がございましたら下記、事務局の者までご連絡お願い致します。

- ・仙台大学体操競技部 30期卒 渡辺 友宏 (090-8788-3421)
- ・仙台大学体操競技部 30期卒 内山 圭二 (080-4701-3587)
- ・仙台大学体操競技部 30期卒 藤岡 良憲 (090-1586-5172)